



東長江川(松江市東長江町付近)

現在の松江市東長江町を流れる東長江川を指す。神名火山とは、今の朝日山。一畑電鉄長江駅の東で穴道湖にそそぐ。奈良時代の秋鹿郡家は、現在の長江小学校の南方の郡崎にあつたと考えられる。

長江川。源は郡家の東北九里四十歩なる神名火山より出て、南に流れて入海に入る。以上七つの川は、並びに魚なし。



伊野川(平田市美野町付近)

現在、平田市東部の美野町を流れる伊野川を指す。一畑電鉄伊野駅の東で穴道湖にそそぐ。当時、秋鹿郡と楯縫郡の境界となっていた川である。

伊農川。源は郡家の正西一十六里なる伊農山より出て、南に流れて入海に入る。



秋鹿郡

佐太川。源は二つあり、東の水源地は嶋根郡のいはゆる多久川となり、西の水源地は秋鹿郡の渡村より出づ。二つの水合ひて、南に流れて佐太水海に入る。即ち水海の周りに七里あり。鮒あり。水海は入海に通ひ、潮の長さ一十五十歩、廣さ一十歩あり。

ほかに「鵜池」「美能夜池」「口池」「敷田池」の記載があるが、現在その場所不明である。



半田池(松江市生馬町)現在すくりに住宅団地を造成中。

松江市生馬町の半田池を指す。

前原坂。周りに二百八十歩あり。鷺鷥・鳧・鴨等の類あり。

松江市大海崎町に「間の内」と呼ばれる小さな湾があるが、ここが「前原堤」の名残(二九ページを参照)張田池。周りに一里三十歩あり。

八東郡鹿島町佐陀本郷あたりにあつた湖。江戸時代の佐陀川の開削はこの湖を貫いて行われた。現在も鹿島町深田あたりには、泥土の深い田がある。最近のボーリング調査によつて、根連木あたりにもっとも深い場所があつたことがわかつた。

惠曇陵。本の字は恵伴なるを、惠曇の字に改めて委す。周りに六里あり。鷺鷥・鳧・鴨・鮒あり。四邊に葦・蔞・荷生へり。養老元年より以往には、荷葉自然に叢生ふること太多なり。二年より以降、自然に失せ、都へて茎なし。俗人の云へらく、其の底に陶器・甕・甕等の類多にあり。古より時々に入溺れ死ぬ。深き淺きを知らず。



鹿島町佐陀本郷付近(上空から撮影)



森田池。佐陀川をはさんで鹿島町役場の南西にある。杜原池は、この付近にあつたらしい。

杜原池。周りに一里二百歩あり。現在の鹿島町佐陀本郷にあつた池。



多久川と大船山(平田市多久町付近)

多久川。源は郡家の東北、神名楯山より出て、西南に流れて入海に入る。現在も多久川と言つ。大船山と楯ヶ山との間の平田市多久谷町畑地区から流れて、船川と合流して穴道湖にそそぐ。当時は直接、入海(今の穴道湖)にはいつていた。

都宇川。源は二つあり、東の水源地は阿都麻夜山より出て、西の水源地は見椋山より出づ。二つの水合ひて、南に流れて入海に入る。



鹿園寺川(平田市鹿園寺町付近)

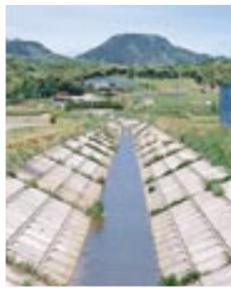
平田市鹿園寺町を流れ穴道湖にそそぐ。現在の鹿園寺川を指す。神名楯山は大船山の二つ。

佐香川。源は郡家の東北、謂はゆる神名楯山より出て、東南に流れて入海に入る。



楯縫郡

文中の「二つの水」は、楯ヶ山から出る野石谷川(上岡田町・東郷町・野石谷町を流れる)と高野野山から出て久多見町を流れる久多美川を指す。現在は船川に合流して穴道湖にそそいでいるが、当時は合流したあたりまで穴道湖があつたと考えられる。



久多美川と楯ヶ山(平田市上岡田町にて撮影)

宇加川。源は同じき見椋山より出て、南に流れて入海に入る。

現在の宇賀川を指す。高野野山を源とし、口宇賀町東南で船川と合流する。平田市街から十六島湾へ抜ける平野部は、東西に山が迫り、古代の楯縫郡と出雲郡の境界だつた。宇加川は、ほぼ一郡の境界に沿つて流れていたと考えられる。



宇賀川(平田市森崎付近)

池では、「麻奈加比池」「大東池」「赤市池」「沼田池」「長田池」を記すが、はっきりとした場所は不明である。



中央が湾の内、佐太水海の名残と考えられる。

多久川(現在の講武川)と、渡村(現在の鹿島町仲田付近)から流れ出る川が合流し、南の「佐太水海」(現在の西浜佐陀町周辺にあつた湖)に流れる川のことを言つた。現在の湾の内が「佐太水海」の名残で、当時はもっと大きかつた。江戸時代、穴道湖・大橋川の氾濫を防ぐため、清原太兵衛の意見を入れ、松平治郷(不昧公)は一七八五年から旧佐太川に沿つて運河の開削にかつた。三年の難工事のすえ、現在の「佐陀川」が完成。現在の流長は八・三千口。四季を通じて釣りが楽しめる。



佐陀川河口から国道方面を見る。



秋鹿川(松江市秋鹿町付近)

松江市秋鹿町を流れる秋鹿川を指す。山中地区に源を発し、旧秋鹿中学校の東を流れ、穴道湖にそそぐ。

山田川。源は郡家の西北七里なる湯火山より出て、南に流れて入海に入る。



岡本川(松江市岡本町付近)

多大川。源は郡家の正西一十里なる女心高野より出て、南に流れて入海に入る。



大野川(松江市上大野町付近)

現在の大野川を指す。磐門山は現在のシヤバミ山。江戸時代は下流で草野川に合流していたが、明治になつてふたたびもとの流れに改修された。一畑電鉄津の森駅の東側で、穴道湖にそそいでいる。

大野川。源は郡家の正西一十三里なる磐門山より出て、南に流れて入海に入る。